

第3回 学校部活動の地域連携・地域移行に関する連絡協議会 協議要旨

I 開催日時・場所

令和7年10月24日(金)午後1時30分から午後2時30分まで (オンライン)

2 概要説明 次のことについて説明

- (1) 「未来へつなぐ部活動改革アンケート」報告について
- (2) 「未来へつなぐ部活動改革 ニュースレター」第8号について
- (3) 「部活動改革に関する動画」について

3 国の動向について

「新たなガイドラインの論点について」(松尾委員から説明)

4 協議 「子供たちのスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実させるための考え方」について

<協議要旨>

- 子供たちがスポーツ・文化芸術活動を常に選べて、楽しめる環境をつくることは、とても大切である。
- 地域移行(地域展開)は目的ではなくあくまで手段であり、子供たちのスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実させることが、最も大切であることを示す必要がある。
- 地域移行(地域展開)で受益者負担が大きくなると、格差が広がる可能性があり、全ての子供たちが機会を失わないようにすることが、非常に重要である。
- 子供の権利を保障するという意味では、最低限、公教育の中で体を動かす機会を保障することが必要である。
- 競技志向の地域クラブ活動だけでなく、軽く運動できる場や文化活動の場を、学校や地域で確保することが重要である。
- 放課後に1時間程度、マルチスポーツやレクリエーション的なスポーツなどの活動を学校に残しておき、それ以上に高いレベルでやりたい生徒は、地域で行えるようにするなど、軽く運動できる活動と、競技的に取り組める活動の両方が地域にあることが望ましい。
- 東京都中学校体育連盟主催の大会において、クラブチームの参加が多い競技は、携わる教員が不足し、運営が困難な場合があり、競技団体に運営協力を依頼する可能性がある。
- 全国中学校総合文化祭では、新たな取組として法人に大会運営を委託した。初めてのことでの確認することも多かったが、関係者で会議を重ねて運営のノウハウを整備した。